



秋川牧園

株主通信 冬号



代表取締役社長

秋川 正

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、当社第42期第2四半期連結累計期間(※)の事業の状況につきまして、
ご報告申し上げます。 (※) 2020年4月1日から2020年9月30日まで

Q 新型コロナウイルスの影響と上半期までの連結業績についてお聞かせください。

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は、社会そして一人一人の暮らしにとっても大きな影響を与えました。その中で食の分野で起きたことは、感染防止意識の高まりを背景に外食から内食へのシフト、そして購入方法の店舗から宅配へのシフトです。

秋川牧園では、販売する食材の多くが家庭向けであり、かつその流通形態も卸と直販の双方で宅配がメインのため、結果として当社の食の需要が急増する展開となりました。ゴールデンウィーク頃をピークに徐々に落ち着いてまいりましたが、それでもなお需要が強い状況が続きました。

その結果、上半期の売上高は対前年比で 117.3%と高い伸びとなりました。また、利益面もスケールメリットが発生する中で生産性の向上が進んだこともあり、大幅な増益となりました。



▲新デザインパッケージへの切り替えが順調に進んでいます。

Q 現在の経営環境をどのように認識していますか？

新型コロナウイルスの感染拡大は、日本経済に大きなダメージを与えており、今後経済対策が縮小する局面では、消費マインドのさらなる低下に注意が必要だと考えています。

一方、このコロナ禍は在宅勤務の普及など、元々進みつつあった社会や暮らしの変化を大きく促進しているという側面もっています。家庭での食事機会が増える中で、多くの方は日々の食事が「暮らしの質」に大きく影響していることに、改めて気づいたのではないのでしょうか。また、今回初めて生鮮食品の宅配を利用した方も多かったようですが、宅配サービスの利便性の認識がさらに進んだものと考えられます。



これらの変化は当社の事業にとってはプラスに働くものであり、秋川牧園の成長のチャンスがより広がっているものと認識しています。

業績の推移

新型コロナウイルスの影響で内食・宅配需要が拡大し、売り上げは大きく増加。冷凍食品工場の生産性向上及び飼料価格の値下がり要因も加わり利益面では大幅な増益に。

業績ハイライト

	第39期 ('17.4~'17.9)	第40期 ('18.4~'18.9)	第41期 ('19.4~'19.9)	第42期 ('20.4~'20.9)
売上高 (百万円)	2,605	2,700	2,719	3,188
営業利益 (百万円)	11	△11	△23	135
経常利益 (百万円)	42	△2	△6	145
四半期純利益 (百万円)	21	△22	△10	89
1株当たり四半期純利益 (円)	5.10	△5.40	△2.58	21.44
総資産 (百万円)	4,677	4,922	4,915	5,244
純資産 (百万円)	1,500	1,554	1,653	1,846

Q 上半期の取り組みのトピックスをお聞かせください。

最大のトピックは、やはり新型コロナ対策となります。幸い山口県での発生は少ない状況がキープされていますが、安定的な事業活動の確保に向けて社内でのヨコ感染を防ぐことは重要です。検温、手洗い、換気などハードとソフトの両面から対策を進めました。また、在宅勤務のインフラを整える中で、ペーパーレス化が一気に進んでいることは今後の財産となりそうです。

6月からスタートしたスイーツ工房では、プリン製造が順調に進んでいます。まずは直売店での販売から始めましたが、好評をいただきましたので、宅配会員向けの販売も開始することにいたしました。

また、次期中期計画の策定プロジェクトによる検討が進んでいます。未来の予想は大変難しいのですが、今後の秋川牧園の成長戦略をしっかりと練っていきたいと考えています。



▲試行錯誤の上、美味しいプリンが出来上がりました。



※同封している秋川牧園のたよりは、本来は消費者向けに作成したのですが、株主の皆様にも普段着の秋川牧園のことも知っていただければと考え、お届けしているものです。お楽しみいただければ幸いです。

秋川牧園が1927年の創業当時より大切にしている「口に入るものは間違っていない」という思いや目的を消費者の皆さまに対して、より具体的に理解・共感いただくためにブランドムービーの制作を行いました。YouTubeにて公開(左記QRコードまたはURLより)しておりますので、是非、一度ご覧ください。



<https://youtu.be/rYRJLUayC5g>

会社の概況 (2020年9月30日現在)

本社所在地 山口県山口市仁保下郷10317番地
 設立 昭和54年5月25日
 資本金 7億1千4百15万円
 従業員 212名(グループ合計 279名)
臨時社員及びパート社員を除く
 上場証券取引所 東京証券取引所
 JASDAQ(スタンダード)
 事業所
 本社及び工場 山口県山口市仁保下郷10317番地
 大阪事業所 大阪府茨木市太田1-1-25

役員

代表取締役会長 秋川 實
 代表取締役社長 秋川 正
 取締役 甲斐 利光
 取締役 田村 次郎
 社外取締役 内田 恭彦
 常勤監査役 徳光 隆司
 社外監査役 江藤 龍夫
 社外監査役 宇佐 美理世